

『江戸名所図会』に登場する
「さいたまの名所」

①	焼米坂 <small>やきごめ</small>	南区根岸4丁目
②	調神社 <small>つき</small>	浦和区岸町3丁目
③	氷川女體神社 <small>ひょうがたい</small>	緑区宮本2丁目
④	氷川神社一の鳥居	大宮区吉敷町4丁目
⑤	氷川神社	大宮区高鼻町4丁目
⑥	東光寺	大宮区宮町3丁目
⑦	黒塚 <small>くろづか</small>	大宮区堀の内町3丁目
	潮田出羽守墓碑 <small>うしおだ でわのかみ</small>	大宮区寿能町2丁目

今回、「関八州 名所めぐり」と題しまして、関東地区博物館協会に加盟する十館が共同で「名所」をテーマにした企画展を開催いたします。

さいたま市立博物館では、江戸時代後期に出版され人気を博した『江戸名所図会』に登場する「さいたまの名所」にスポットを当てた展示を行います。

『江戸名所図会』は江戸の町名主齋藤幸雄・幸孝・幸成の親子が三代がかりで完成させ、天保五年（一八三四）、天保七年（一八三六）に出版された全七巻二十冊の江戸とその郊外の名所案内記です。さいたま市域の名所は第四巻に登場し御用絵師長谷川雪旦による挿絵が七景「焼米坂」、「調神社」、「三室村 元簀河神社」（現在の氷川女體神社）、「氷川宮大門先」、「大宮驛 氷川明神社」、「大宮驛 東光寺」、「黒塚 潮田出羽守城趾同墓碑」一添えられています。

江戸府内から遠く離れた、さいたま市域の「名所」がなぜ『江戸名所図会』に登場するのでしょうか。江戸の名所案内記に江戸郊外の「名所」を採録したのは『江戸名所図会』が最初ではありません。ただ齋藤氏は、「都名所図会」に匹敵する江戸の名所案内記を企図する中で、京都に比べて古い由緒ある名所が少ないことを案じ、あえて江戸郊外にまで視野を広げ、郊外の由緒ある名所を『江戸名所図会』に採録したようです。

本展では、江戸時代の「さいたまの名所」を知る縁として雪旦の挿絵七景を展示いたします。展示を通じて、江戸時代の「さいたまの名所」や土地の様子に思いを馳せていただければ幸いです。あわせて絵葉書や古写真、案内パンフレットなどで七景のその後を辿りました。「名所」が時代ごとに、人々に愛され現在にまで受け継がれてきた様をどうぞご覧ください。



絵葉書「官幣大社氷川神社 随神門」

江戸名所図会「焼米坂」



さいたま市立博物館

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2-1-2 ☎048-644-2322

<http://www.city.saitama.jp/hakubutsukan.html>

表は『江戸名所図絵』より ①「焼米坂」 ②「三室村元簀河神社」 ③「黒塚 潮田出羽守城趾同墓碑」 ④「氷川宮大門先」部分

このチラシは10,000枚作成し、1枚あたりの印刷経費は12.6円です。